

「9 城下町の人々」の資料で、江戸時代の名古屋のようすを調べよう。

これは、今から 300 年くらい前の江戸時代の名古屋城下をえがいた、『享元絵巻』という絵の、大須のあたりの部分です。

☆ ^{おおす かのん}大須観音はどこにあるでしょうか？さがしてみましょう。

ここ！

☆ ○で囲んだ場所は、何をしている場所でしょうか？

^{しばい ご や}芝居小屋

^{けいだい}お寺や神社の境内には芝居小屋がたくさん出て、^{しばい ご や}かぶきなどが^{じょうえん}上演されました。お寺や神社はおまいりにいくだけの場所ではなく、人々の遊びや楽しみの場でもあり、とてもにぎわっていました。

博物館には、江戸時代の名古屋とその周辺の有名な場所やけしき、特産品や人々のくらしのようすを絵入りで紹介した本があります。

☆ 「8-5 街道と宿場」で、その本の名前やいつごろ出来上がったのかを調べてみよう。

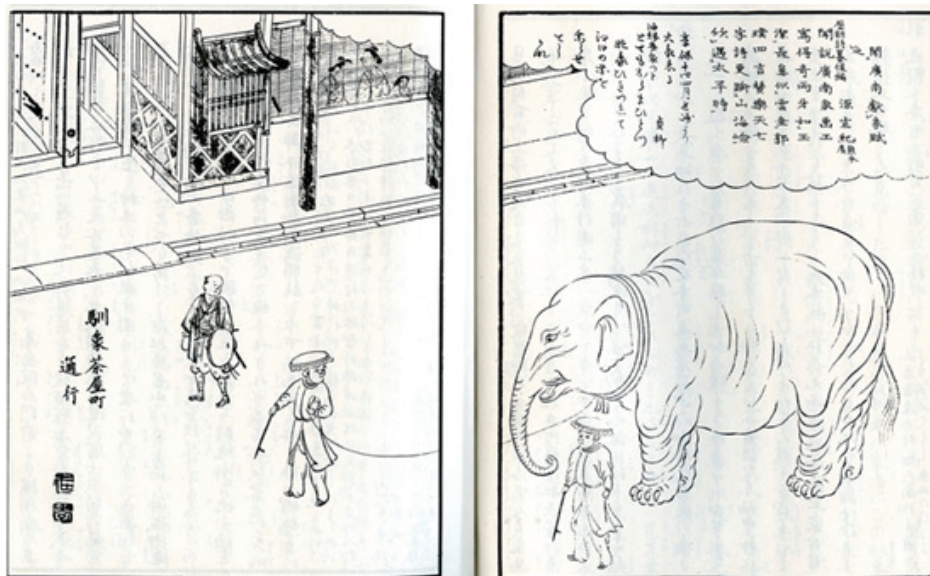
本の名前 (^{おわりめいしよす え}尾張名所図会)

最初に出版された年 ^{てんぽう}天保15年 ^{せいれき}西暦 (1844) 年

これは今から何年くらい前ですか？正しいと思うものに○をつけてね。

100年前 (170年前) 250年前

☆ この本には、下のような場面もえがかれています。白くかくされているところには、ある動物がえがかれているよ。その動物は何か。博物館のパネルを見てその動物をスケッチしてみよう。



^{おわりめいしよす え}これは『尾張名所図会』の附録
^{おわりだのま しみず}で、『小治田真清水』という書名
で出版されています。